

東二幼だより

どろんこ

学校法人 曾根学園
東二番丁幼稚園
令和4年度 3月号

お日様が春を感じさせる日差しになり、秋に植えたちゅうりっぷやクロッカスの球根も近くまで来ている春を感じて頭を出し始めました。

東二幼の子どもたちも卒園、修了に向けて希望を大きく膨らませています。年中児は先日のお別れ会に向けて計画を立て、年少児のみんなをリードしながら準備を進めました。当日は年少児が作った輪飾りでプレイルームや廊下が華やかになり、年中児の元気いっぱいの司会で感謝の気持ちを込めた素敵な会となりました。年長児も嬉しそうで、とても喜んでくれ、大成功のお別れ会でした。どの学年の子どもたちも頼もしく成長した姿を見せてくれていました。

さて、いよいよ3月に入り、友達といっぱい遊んだ今年度も締めくくりの時となりました。残された園生活を友達と思いきり遊び、みんなで一緒に胸を張って慶びの日を迎えられるよう過ごしていきます。



雪遊び



豆まき会



お別れ会



お別れ会 職員劇「美女と野獣」



～レインボーランチ～

卒園するにじ組さんとゆっくりお話をしながら職員室で給食の時間を楽しみました。幼稚園やお家の事など、いつもは聞くことができない色々なお話をしてくれる子どもたちです。卒園まで1日1日が大事なので、感染予防に努めながら行っています。

～令和5年度 つくしの会総会について～

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、参集せずに書面による議決で行いました。来年度、令和5年4月28日(金)に予定しておりますつくしの会総会は、これまでの形式に戻し、幼稚園プレイルームにて参集型で実施する予定です。よろしくお祈りします。

卒園式

〈日時〉14日(火) 9:15~11:30

年長児37名の晴れの卒園式です。詳しくは、後日配布のご案内をお読みください。年少・中児は前日に年長児にお祝いのごちを贈り、式当日は**臨時休業日**になります。



修了式

〈日時〉15日(水) 9:40~10:00
年少児、年中児の一年を締めくくる大切な式です。進級への期待がさらにふくらむことでしょう。進級のお祝いとして、制服型のキーホルダーをプレゼントいたします。



預かり保育について

- 13日(月)は、卒園式準備のため月契約の方のみの利用とさせていただきます。
- 14日(火)は、**卒園式のため朝・帰り共にお休みとなります。**
- 春季休業中の預かり保育の計画を立てたいと思います。つきましては、**春季休業中(3月・4月)**に一時利用を希望される方は、**3月6日(月)朝まで**に一時利用の申込書の記入をお願いします。給食申込書は職員室でお渡ししています。**春季休業日給食申込書と代金を、園児名を記入したお手持ちの封筒に入れて3月6日(月)朝までに、ご提出ください。**(月契約・一時利用ともに)
- 春季休業中は、**各保育室を通らずに、プレイルームからお入りください。**
- 登園時間8:00~9:50、お昼寝14:00~15:00、その後おやつ時間の予定ですので、**降園時間は昼食前の11:30又は15:30以降となります。**(月契約・一時利用ともに)
- 通園門は防犯上、**10:00~11:30と12:00~15:30まで施錠しています。**出入りの際は防犯上、必ず鍵を2箇所閉めていただくようにご協力をお願いします。また、**鍵の開け閉めは保護者の方が行ってください。**
- 利用するお子さんは、利用時間にかかわらず**水かお茶をいれた水筒**を持たせてください。
- 新年度開始時(4月11日(火)~14日(金)分)の一時利用申込みは、3学期終業式の日までに済ませていただきますようご協力をお願いします。



園長のひとりごと ~「東二幼の子どもは本当に素晴らしい」~

永年、東二幼の子どもたちと接していると、子どもたちの順応性とたくましさには驚かされるばかりです。毎日こうした子どもたちとふれあっていると、その子が持っている特性のひとつひとつが、無限の可能性を感じさせてくれます。

子どもって

- ★自己中心的でわがままだから、自由奔放に振るまうことができるんです。
- ★純真だから、何でも美しく見えるんです。友達の心の痛みにも共感できるんです。
- ★やんちゃだから、いろんなことにチャレンジできるんです。
- ★常に前を向いているから、悔やんだりしないんです。失敗を恐れないんです。
- ★好奇心旺盛だから、生きた知識をぐんぐん獲得していけます。
- ★お父さん、お母さんが大好きだから、もっとよい子になりたいと思っています。

子どもって、見守っていると、素晴らしい成長の足跡を見せてくれるものです。突き放すのではありません。子どもの好き勝手に行動させたり、放任するのではありません。

「見守りましょう。親としての愛情と信頼の眼差しで」 (完)